

公開講座「生成 AI を体験しよう！」開催報告

テーマ：生成 AI を体験しよう！

日時：2025 年 6 月 7 日（土）13 時から 15 時 15 分

場所：泉陽高校 同窓会館 2 階集会室

講師：川端 満（昭和 50 年卒 27 期）

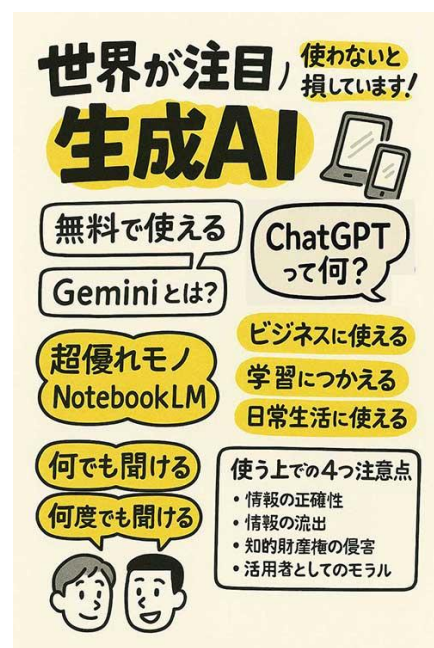
講師プロフィール：1975 年泉陽高校卒業

高校時代はサッカー部（近畿大会、大阪総体優勝）

仕事は、情報処理会社、外資 IT 会社へ長年勤務

現在は退職し、泉陽会組織委員会委員長

参加者：26 名（内役員 8 名）



□はじめに泉陽会 福井会長ご挨拶

最新の生成 AI を体験する講座であること、世の中の DX 革命の重要性に触れられ、本日開催の、三国・泉陽・岸和田高校の 3 校合同見合い会（結びの会）に出席されていたことに触れ、少子化革命の重要性にも言及されました。

□講座概要

職歴の延長線上で、AI 情報を日々吸収しており、その知識を皆さんに共有できればという思いで講座を開催。

生成 AI を使うのは初めてという方が多く、講座資料に沿って話をすすめました。

※講座資料は、公開講座のページからダウンロード可能です。

冒頭の「授人以魚 不如授人以漁（ショウ レン イー イュー、プー ルー ショウ レン イー イュー）」のお話
しで戸惑われたかもしれません。（詳しくはスライドに記載）

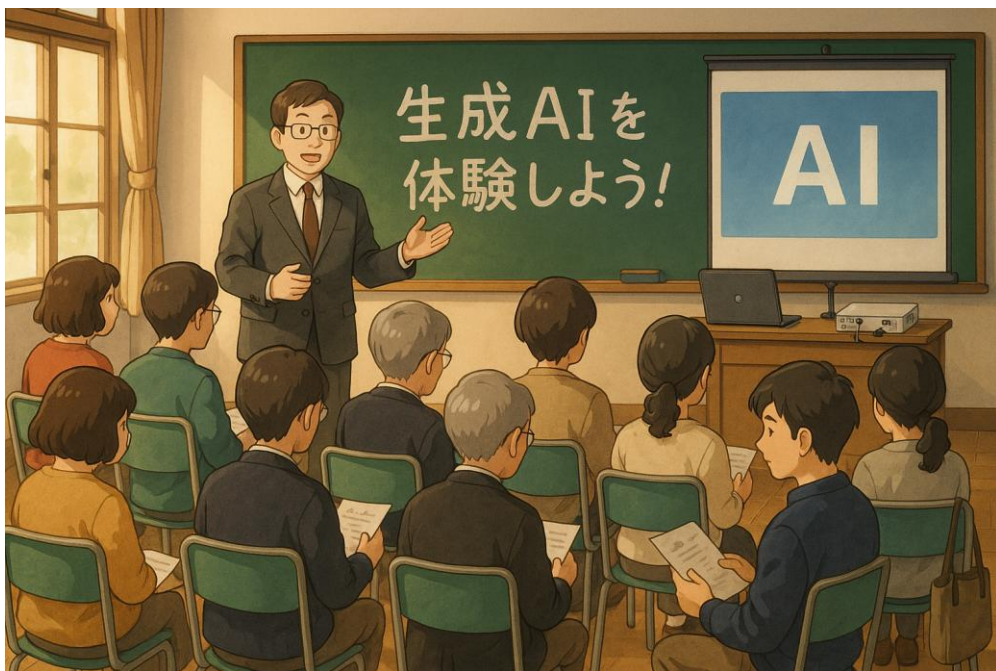
人工知能という考え方は、戦後 1956 年に誕生していたが、2 度の挫折。2022 年 11 月に
米国 OpenAI 社から ChatGPT 3.5 が一般向けに無料公開されたことで急速に普及。

生成 AI は、自分の秘書やアシスタントができたにとらえ、パソコンでも、スマホでも使
えます。有料版もありますが、個人使用は無料版で十分。

生成 AI は文章（テキスト）を得意とし、文章の要約、校正、翻訳、アイデア出し、思考
整理、調べ物サポートに有用です。

ChatGPT のスマホアプリを参加者のスマホにインストールしてもらいました。ただ ChatGPT は無料版の使用でも、スマホにアプリ支払い情報の登録がないとインストールができない方が数名おられ、事前の案内不足を反省しています。

生成 AI を使うには「**プロンプト**」と呼ばれる「指示文」を用い、生成 AI に指示（質問）を与えます。プロンプトが曖昧であれば曖昧な回答が戻りますので、できるだけ具体的なプロンプトの使用が望ましいです。



[ChatGPT で作成した「ジブリ風」画像：講座イメージ]

Gemini は Google 社が開発・公開している生成 AI で、ChatGPT と同等の機能を持っていますが、特徴は Google 社の他のサービス、例えば Gmail、Google ドライブ、YouTube 等と連携している強みがあります。

Gemini はマルチモーダル（テキストだけでなく、画像、音声、動画など）に対応。パソコンのブラウザ、スマホアプリで利用できる。

生成 AI のプロンプトで押さえておくべき **4つの要素**を説明。次に ChatGPT、Gemini 以外の色々な生成 AI をご紹介。次に生成 AI 利用時のメリット（日常生活、学習、仕事）と、まとめ。

生成 AI 利用上の注意点として、「**ハルシネーションの発生**」「**個人情報を入力しない**」「**著作権やマナー**」「**偏った情報、フェイクニュース**」をお話ししました。

続いて私の一押しの NotebookLM のご紹介。多様なソースに対応(Google ドキュメント、Google スライド、PDF、テキスト (.txt)、ウェブサイトの URL、YouTube の URL、音声ファイル) し、高度な要約機能を備えた優れモノです。

NotebookLM の私の用法を実演、主に本をスキャナーでスキャンし NotebookLM のソースとして入力。要約機能、チャット機能で質問し理解を深めています。

最後に DeepResearch 機能について、これは ChatGPT や Gemini に搭載され、ユーザーの質問の意図を深く理解し、関連性の高い情報を網羅的に収集することができる機能です。

併せて論文検索の AI を簡単ですが紹介いたしました。

参加の皆さま、準備不足や、お聞き苦しい点多々あったと思いますが、最後までご清聴いただきありがとうございました。今後、要望がございましたら、今回の反省を踏まえ、講座（勉強会）を開かせていただきます。

尚、ご質問がございましたら、下記 QR コードのメールアドレスへ、照会いただければ、お答えさせていただきます。

ご質問はこちらの QR コードから



□次回 9 月 7 日（土）、元泉陽高校美術教諭の青山先生の公開講座予定を案内させていただきました。詳しくはホームページへ掲載いたしますので、お聞き逃しなく。

当日会場の設営、片付けをサポートしていただいた皆さまありがとうございました。

（編集・纏め：組織委員会 昭和 50 年 27 期：川端 満でした）